

第14回 輸入感染症講習会 2019

開催日時 2019年11月23日(土)、24日(日)

開催場所 国立国際医療研究センター病院 研究所 A.B

国のグローバル経済戦略、観光戦略が進むなか、日本へ入国あるいは出国する渡航者の数はかつてなく増加しています。さらに2020年には東京オリンピック・パラリンピックが控えており、渡航者にまつわる健康問題への対処が求められる機会がますます増えることが予想されます。渡航者の体調不良に対する適切な初期評価、地域の専門医療機関との連携を含め、プライマリケアや専門医療に関わる医師が輸入感染症を包括的に学ぶ機会として本研修を企画しました。輸入感染症に関心をお持ちの方のご参加を、お待ちしております。

対象：医師（医師対象ですが、看護師、薬剤師、検査技師の方も応募頂けます。）

※ 本講習会は日本渡航医学会共催となります

【申し込み】

受付は先着順となります

- 1) Web フォームにて申し込み（この段階では仮申し込みになります）
- 2) 申し込み確認メールが届きます。案内にしたがって参加費を振り込んでください。
- 3) 参加費を振り込まれた時点で正式のお申込みとさせていただきます
- 4) 遅くとも9月27日(金)までに最終のご案内のメールをさせていただきます

【申し込みフォーム】

<https://forms.gle/9FqzzvjHxfXS7HG7>

受講料：8,000円（2日間）

※キャンセルポリシー：11月1日(金)正午までのキャンセルは、振込手数料を差し引き返金いたします。以後はテキストの配布にかえさせていただきます。

【問い合わせ先】

国立国際医療研究センター 国際感染症センター 研修事務局：忽那賢志 秋山裕太郎

電話：03-3202-7181 (代表) FAX 03-3202-1012 Mail: dccinform@gmail.com

※ 講習会についてのお問い合わせは基本的にメールでお願い致します

電話でのお問い合わせは9時から15時までにお問い合わせ致します

プログラム

11月23日(土)

- 12:30 - 12:40 Opening remarks
- 12:40 - 13:30 海外からの発熱患者(総論) 太田雅之(国立国際医療研究センター)
- 13:30 - 14:20 マラリア(診断) 狩野繁之(国立国際医療研究センター マラリア研究部)
- 14:30 - 15:10 マラリア(治療) 山元佳(国立国際医療研究センター)
- 15:10 - 16:00 リケッチア症 山藤栄一郎(長崎大学医学部 感染症内科)
- 16:10 - 16:50 渡航者の耐性菌輸入と対策 大曲貴夫(国立国際医療研究センター)
- 16:50 - 17:30 蚊媒介感染症(デング、チングニア、ジカ) 忽那賢志(国立国際医療研究センター)
- 17:30 - 18:10 Case study 織田錬太郎(東京ベイ・浦安市川医療センター)
- 懇親会(希望者のみ): 2,000円

11月24日(日)

- 09:00 - 09:50 マスギャザリングと感染症 和田耕治(国際医療福祉大学)
- 09:50 - 10:30 腸チフス 野本英俊(国立国際医療研究センター)
- 10:40 - 11:30 旅行者下痢症 吉村幸浩(横浜市立市民病院)
- 11:30 - 12:20 狂犬病 倉井華子(静岡がんセンター)
- 13:20 - 14:10 medical evacuation 入門 守山祐樹(国立国際医療研究センター)
- 14:10 - 14:50 case study 秋山裕太郎(国立国際医療研究センター)
- 14:50 - 15:00 Closing Remarks

アクセスマップ

国際医療研究センター

〒165-8622 東京都新宿区戸山 1-21-1

都営地下鉄 大江戸線 若松河田駅(河田口)から徒歩5分

東京メトロ 東西線 早稲田駅(2番出口)から徒歩15分

※ バス、駐車場のご利用に関してはホームページをご参照ください。

<http://www.ncgm.go.jp/access/#center>

